



福岡女学院大学・福岡女学院大学短期大学部
FUKUOKA JO GAKUIN UNIVERSITY FUKUOKA JO GAKUIN UNIVERSITY JUNIOR COLLEGE



地域・国際交流センターNEWS

～2023年度を中心とした活動内容についてご案内します～

2024/7/5



【地域貢献】
「もしも」に備える防災講座



【国際交流】
やながまつりに留学生が参加



【生涯学習】公開講演会
「今をいきる 今をうたう 今をえがく」



FUKUOKA JO GAKUIN UNIVERSITY
FUKUOKA JO GAKUIN UNIVERSITY JUNIOR COLLEGE

目次

福岡女学院大学副学長・地域貢献センター長 挨拶

01

地域貢献部門

- (1) 地域貢献事業の設置趣旨及び活動内容について
- (2) 包括連携協定先一覧(包括連携協議会の実施)
- (3) 2023年度 地域貢献事業年間行事(実績)
- (4) 地域連携事業活動実績紹介
 - ① 地域の課題解決に向けた連携事業
 - ② 評価委員・講師派遣
- (5) 学生ボランティア

02

生涯学習部門

- (1) 生涯学習事業の設置趣旨及び活動内容について
- (2) 市民講座
- (3) 特別講座
- (4) 公開講演会
- (5) 資格取得講座
- (6) 履修証明プログラム
- (7) 寄付講座

03

国際交流部門

- (1) 国際交流事業の設置趣旨及び活動内容について
- (2) 協定校一覧
- (3) 留学プログラム(派遣実績)
- (4) 留学生受け入れ状況(交換留学生、院生、研究生含む)
- (5) 国際交流と地域連携(実績)
- (6) 国際交流イベント

福岡女学院大学副学長・地域貢献センター長 挨拶

地域・国際交流センターは、2021年度まではそれぞれ独立していた3つのセンター（国際交流センター、地域貢献センター、生涯学習センター、）の役割と機能を統合した組織です。統合により、各センターが持っていた専門知識や情報が統一され、より効率的に活用されるようになることが期待されています。

さて、急速な変化が続く今日の世界において、複雑化する国際情勢に対応可能な知識や技術を有する人材育成が求められています。当センターの主要な国際交流業務として、様々な海外体験プログラムや文化交流等の機会を通じて、学生の知的好奇心を刺激し、異文化理解を促進することを目指しています。

地域貢献事業においては、大学と周辺地域社会との架け橋となるべく、包括連携協定等を通じて協力関係を育んでいます。これまでもワークショップやボランティア活動を開催したり参加したりする中で、積極的に地域との関係構築を行ってきました。

また当センターは、旧生涯学習センターの業務を引き継ぎ、多くの学生や社会人等の専門性を高めるための教育機会も提供しています。新しい知識やスキルを身につけ、人生の様々なステージで活躍するために必要な支援や援助を提供するために様々な講座を企画・開講しています。

地域・国際交流センターは、世界の変化に適応し、多様なニーズに応え、地域社会の発展に貢献できるよう関係教職員と協働で取り組んでまいります。



地域・国際交流センター
センター長 柴田 雄介



(1) 地域貢献事業の設置趣旨及び活動内容について

地域・社会へ貢献したいと考え、
地域から愛される大学づくりを目指しています

大学の様々な取り組みと地域・社会の皆様をつなぐことを目的として、2019年9月に「地域貢献センター」として設置され、2022年に現在の地域・国際交流センターに統合しました。

地域と大学を結び、以下のような取り組みをとおして、お互いにWINWINとなるような活動を行っています。



地域貢献部門



○ 地域共催プログラム ○

自治体と協力し、地域に向けた教育プログラム講座を実施

○ 受託事業 ○

企画段階から相談者と連携し、体制づくりや
教員とのマッチングをコーディネート

○ 学生ボランティア派遣 ○

学習効果を望める地域貢献活動への、積極的な学生募集
と派遣



リカレント教育
【生涯学習】



地域のご支援
【臨床心理】



地域の課題解決



まちづくり支援事業



小・中学校との
連携事業



国際交流

(2) 包括連携協定先一覧（包括連携協議会の実施）

ご相談の流れ



1. 地域貢献部門へ連絡

連携を依頼したい内容について、まずは地域貢献部門へご相談ください。



2. 資料を送付

取り組みをまとめた資料やチラシをメールで送付ください。



3. 学内で検討

取組可能かについて、関係部署等と検討します。
※必ずしもお受けできるとは限りません。



4. 回答・調整

学内で決まった方向性についてお返事します。連携を進める場合は、必要に応じて打ち合わせなどを行い、実施に向け調整していきます。



5. 取り組み開始

調整がつき次第、取り組みをスタートします。必要な事業については最後まで地域貢献部門が事業をサポートします。

	包括連携協定先	主な連携事業
【自治体】	福岡市南区	南区こども大学、#南市民センターでいろいろプロジェクト
	朝倉市	地域活性人財育成プログラム、甘木駅周辺整備基本構想策定会議コンセプト検討部会参加、観光サイトの英訳
	小郡市	小中学校の学び場支援、小郡ゼミ、小郡市観光モニターツアー
	粕屋町	保育連携支援、就学に関する教育支援
	古賀市	留学生による行政書類多言語翻訳
	春日市	小学生のプログラミング教育、防災人材育成プログラム 学生による行政書類多言語翻訳 若者の主権者意識の醸成に関する連携
	篠栗町	幼児教育研修会、女子学生の視点を活かした観光スポットをYoutubeとインスタグラムで情報発信
	岡垣町	人的交流促進知見交換（地域観光促進関係）
【教育委員会】	鳥栖市教育委員会	歴史・文化財の活用（パンフレット作成）、こどものための音楽祭参加
	大野城市教育委員会	小学校の放課後体験活動ランドセルクラブ支援、市オリジナル体操楽曲制作
	佐賀市教育委員会	幼保小接続期プログラム、教育委員会評価委員
	那珂川市教育委員会	小学生対象イングリッシュデイ短大学生ボランティア 小中学校ヤングアドバイザー、かわせみ杯イベントスタッフ
【事業所】	日本航空 株式会社	平成筑豊鉄道『ことこと列車』の平日利用者を生み出す策を提案する課題解決
	株式会社 朝日新聞社	SDG'sを題材にしたカードゲームの作成等
	高光産業 株式会社	ビジネスモデル特許である情報仲介装置を活かした地域企業の課題解決
	アジアナ航空 株式会社(福岡支店)	キャリア形成等、教育・研究等の分野で相互協力、連携等
	九州テレ・コミュニケーションズ株式会社	地域の文化を伝える番組制作、ワークショップの実施等
	ディサント 株式会社	国際交流、特に日伊事業関連の発展・向上にかかわる相互支援
【NPO法人】	NKコンサルティング	キャリア形成等、教育・研究等の分野における教養豊かな国際人育成
	NPO法人 未来創造ハピネス	地域経済活性化人財育成プログラム 学校における危機管理モデル構築：三者連携

(3)2023年度 地域貢献事業年間行事(実績)

ピンク・・・連携機関

4月	5月	6月	7月
	5日 鳥栖市教育委員会 第9回室内楽の杜 子どものための音楽 祭 2023「Let's Enjoy English」講師担当 30日 春日市 <若者の主 権者意識の醸成と投 票行動の促進>春日 市職員によるゲスト講義	6日 古賀市 包括連携協 議会 春日市 <若者の主 権者意識の醸成と投 票行動の促進>学生 たちが議会訪問 12日 朝倉市第1回甘木 駅周辺基本構想策定 会議コンセプト検討 部会に学生が参加 20日 南区 第1回南区大学 連絡協議会 22日 南区 南市民センター でいろいろプロジェクト 企業・大学と学ぼう! 語り合おう! 会 第1回”災害に備えよ う!” 28日 岡垣町 授業「女性の キャリア形成Ⅲ」町長 のゲスト講義	2日 南区 西花畑公民館 「ところが伝わる短歌 講座」 5日 小郡市 授業「観光ま ちづくり論B」市長の ゲスト講義 15日 ケーブルステーション 福岡 スタジオ訪問 26日 春日市 心理学科、メ ディア・コミュニケー ション学科学生作成 「選挙啓発チラシ」を 新成人に配布 27日 朝倉市 第2回甘木駅 周辺基本構想策定 会議コンセプト検討 部会に学生が参加 28日 南区 南区こども大学 「短歌をつくろう」
8月	9月	10月	11月
21日 ケーブルステーション 福岡 包括連携協議会	27日 NPO法人未来創造ハ ピネス「女性のキャリ ア応援セミナー」	2日 朝倉市 第3回甘木 駅周辺基本構想策定 会議コンセプト検討 部会に学生が参加 10日 南区 東花畑公民館 「インターネットを 使って仲間づくりと 生涯学習」 12日 朝倉市 第1回甘木 駅周辺基本構想策定 会議コンセプト検討 部会に学生が参加 14日 NPO法人未来創造ハ ピネス「女性のキャリ ア応援セミナー」 21日 南区 南市民センター でいろいろプロジェクト 企業・大学と学ぼう! 語り合おう! 会 第2回”〇〇の秋、文 化に触れてみよう!”	3日 春日市 春日市表彰式 でハンドベル部が演奏 4日 春日市 スポーツフェス タにラクロス部が参加
12月	2024/1月	2月	3月
10日 ケーブルステーション 福岡 番組制作のため の取材(大野城市 こころのふるさと館) 24日 南区 市政だより南区 版令和6年1月1日号 「南区新春座談会(南 区長×大学生)」掲載 末日 春日市 行政情報の 多言語翻訳が完了	20日 ケーブルステーション 福岡 番組上映会 22日 春日市 こどもと一緒 に考えよう! 「もしも」 に備える防災講座 (昇町保育所) 27日 春日市 デジタルワー クショップ	6日 春日市 <若者の主 権者意識の醸成と投 票行動の促進>最終 報告会 12日 朝倉市 第4回甘木 駅周辺基本構想策定 会議コンセプト検討 部会に学生が参加 29日 春日市 こどもと一緒 に考えよう! 「もしも」 に備える防災講座 南区 第1回南区大学 連絡協議会	2日 春日市 こどもと一緒 に考えよう! 「もしも」 に備える防災講座 12日 南区 南市民センター でいろいろプロジェク ト 振り返り会

(4) 包括連携事業実績紹介

本学は包括連携協定を締結している機関を中心に、地域とつながり、様々な連携事業を実施しています。地域からの依頼は地域貢献部門から教員・関係部署・学生につなぎ、取り組みまでをコーディネートしています。2023年度の主な事業をご紹介します。

①地域の課題解決にむけた連携事業

■春日市

デジタルワークショップ

1/27

春日市との包括連携事業「デジタルワークショップ」を開催しました。同市在住の小学4年生を対象とし、レゴ®で作った車をプログラムで動かしました。講師は人間関係学部子ども発達学科3年 石井ゼミの16名です。学生が学んでいる教育学の知見を活かし、子どもたちのプログラミング的思考を養うことを目的として学生が主体となって進めました。終了後には、春日市教育委員会(包括連携先)の皆さまから講評をいただきました。



■九州テレ・コミュニケーションズ株式会社

ケーブルステーション福岡との番組作成

包括連携先のケーブルステーション福岡は地域密着型の番組制作に力を入れています。より地域を身近に知ることができる新たな取り組みとして、本学メディア・コミュニケーション学科の学生たちと共同で番組制作を行いました。大野城の郷土料理である「鶏ぼっかけ」を大野城市の職員や市民のみなさまに直接会って取材し、学生のまなざしから地域で受け継がれてきた食の文化を伝える番組制作に取り組みました。その模様は「2755(つなGO!!GO!!!)」にて放送されました。

～番組完成までの流れ～

11/20

<筑紫野ショールーム訪問>



収録スタジオをはじめとするショールーム全体を見学させていただいた他、ケーブルテレビと民間放送の違い、スタッフの役割、番組制作の流れ・構成等を学びました。

12/10

<取材活動>



大野城「心のふるさと館」にて、学生たちが記者となり、「鶏ぼっかけ隊 隊員」や古くから鶏ぼっかけを愛する地元住民の方を取材しました。

2/28

<学内上映会>



学生が作り上げた作品をケーブルステーション福岡の皆様、本学の教授、スタッフ、学生で集まり、学内上映会を行いました。学生の努力によりとても素晴らしい作品に仕上がっていました。

3/30

<2755(つなGO!!GO!!!) 放送>



完成作品がケーブルステーション福岡の番組「2755(つなGO!!GO!!!)」にて、学生のインタビューも加えて放送されました。大野城市及び本学の魅力を伝える素晴らしい番組となっていました。

■春日市

地域防災・医療・福祉人”財”育成プログラム

包括連携先である春日市(昇町保育所)と連携し、2023年度地域連携教育プログラム「地域防災・医療・福祉人”財”育成」を開催しました。

「こどもと一緒に考えよう!」もしも」に備える防災講座」のテーマのもと、幼児期に必要とされる防災教育の取り組みについて学びました。

人間関係学部子ども発達学科の森谷由美子先生とゼミの学生が昇町保育所の5歳児を対象に活動を行いました。

2/29 第1回 防災講座

< 大学ミッションアリーナ >



グループでテントを組み立て、非常袋の中身の確認や、ホイッスルで助けを呼ぶ練習をしたり、少量の水とクッキーをどのように分け合うかを考えたりと、子どもたち自身で安全な空間づくりを体験しました。命の大切さや重みを感じる心と「自分の命は自分で守る」という意識を育て、行動を身につける体験型防災プログラムとなりました。

1/22 プレワーク

< 昇町保育所 >



紙芝居やカードゲーム「防災ダッグ」を使って、身体を動かして遊びながら防災や日常の危険から身を守ることについて学びました。子どもたちは絵を見てとっさにポーズをとったり、こんな時はどうしたらいいの?と質問したり、一生懸命に取り組んでいました。

3/2 第2回 防災講座

< エリザベス・リーホール >



第1回のプログラムで取り組んだことを振り返りながら、昇町保育所の実践報告をもとに、幼児期の防災教育の重要性と、実際に保育所や家庭、地域でできる子どもたちの目線に立った取り組みについて、ワールドカフェ方式で意見交換をしながら理解を深めました。

■福岡市南区

#南市民センターでいろいろプロジェクト

企業・大学・行政が一体となった南区初の地域向けイベント、「企業・大学と学ぼう! 語り合おう! 会」が開催されました。

令和4年にリニューアルした南市民センターの活用促進を目的に、新たに開講された3回シリーズのプログラムです。

南区の企業や大学がそれぞれの持つノウハウを活かしたオリジナル企画を実施しました!

6/22 第1回プログラム

< “災害に備えよう!” >



災害時を想定し、当事者になったとき、自分ならどう判断するのかを、「クロスロード」ゲームを通して意見を交換しました。災害現場の困難な意思決定状況で感じるジレンマを疑似体験することができるゲームです。

10/21 第2回プログラム

< “〇〇の秋、文化に触れてみよう!” >



自分らしく旅を楽しむために!!
～旅のしおりをつくってみよう～
旅のしおりを実際に作りながら、自分らしく楽しむ旅の見つけ方について学びました。旅を楽しむなら、行く人と自分が訪れたいところなどを事前に対話し、共感するところを理解し選択していくことが大切だと学びました。

■NPO法人未来創造ハピネス

地域経済活性化人材育成プログラム

9/27、10/14

女性の地域社会での活躍促進と地域経済の活性化に繋げる人材育成プログラム「女性のキャリア応援セミナー」を開催しました。包括連携先のNPO法人未来創造ハピネスと共催のもと、春日市商工会女性部、福岡商工会議所女性会の方をお招きして、「女性が思うように働くためのコツ～今の仕事の働きやすい環境づくり～」や「求められる人材となるために～自分らしく生きるための仕事選び～」をテーマにディスカッションを行いました。女性特有の病気や価値観を理解しつつ、女性・男性と分けるのではなく、チャレンジしていくことの大切さなど、多くのことを学びました。



■朝倉市

甘木駅周辺整備基本構想策定会議コンセプト検討部会



包括連携先の朝倉市にて、甘木駅周辺の活性化事業「甘木駅周辺整備基本構想策定会議コンセプト検討部会」が行われました。甘木駅を中心としたまちづくりを目指すため、地域の方々が集まって話し合いをする会で、本学からは学生2名が参加しました。

年4回にわたるワークショップ形式の会議の中で、参加者が意見を交わし、あげられた意見をもとに、甘木駅周辺の整備方針が決定しています。今後はこの方針をもとに様々な取り組みが実行される予定です。



■春日市

若者の主権者意識の醸成と投票行動促進のための課題解決学習

包括連携先である春日市から「若者の主権者意識の醸成と投票行動の促進」という課題を提供いただき、人間関係学部心理学科 藤村まこと准教授の授業「心理学フィールドワーク(キャリア)A・B」において、学生たちが心理学の知見を活かした課題解決型のPBL学習に2022年度から引き続き、取り組みました。



7月には本学学生がデザインを担当した選挙啓発チラシを、新成人になる18才に向け配布しました。



6/6

<議会訪問>

春日市議会を訪問し、議場の見学と議員の方々との意見交換を行いました。



今回の取り組みを通して学生たちは、心理学の知見を地域貢献に活かすことができるとともに、主権者意識の向上にもつながる貴重な経験になりました。

2/6

<最終報告会>

春日市議会、春日市選挙管理委員会、春日市明るい選挙推進協議会の皆様にご出席いただき、学生による最終報告会が行われ、春日市に提案を行いました。出席者の皆様からは、ぜひ連携して実践したいなどの貴重な意見をいただきました。学生たちは、この活動を通して、若い人にも、もっと政治に関心を持ち、知ってもらうことが大切であると感想を話していました。

②評価委員・講師派遣

自治体や産業界、学校の評価委員、慣習会の講師派遣なども行っています。

2021年	佐賀市教育委員会評価委員を担当
2022年	鳥栖市教育委員会事務点検評価を担当
	古賀市総合計画「総合政策検証会議」の委員を担当
	佐賀市教育委員会評価委員を担当
2023年	博多市民センター施設管理運営評価委員を担当
	古賀市総合計画「総合政策検証会議」の委員を担当
	春日市教育委員会事務点検評価の委員を担当
	那珂川市文科系術推進審議会の委員を担当
	鳥栖市教育委員会事務点検評価の委員を担当

(5) 学生ボランティア

本学は包括連携先の地域自治体・教育委員会を中心に、各機関から学生ボランティア派遣の要請を受け、毎年多くの学生が現地で活躍しています。2021年度からの活動について紹介します。

那珂川市イングリッシュデイ (2022年度)



イングリッシュデイとは小学生が外国語指導助手(ALT)と英語でコミュニケーションを図るイベントの一つです。短期大学部英語科の学生がサポートに入り、国旗当てゲーム、文字を集めての作文、感想を伝え合うサマリーまで、全て英語で行われました。

《参加学生の声》

小学生に英語を教える経験はすごく楽しく取り組むことが出来ました。この機会は自分自身の成長にもすごくつながったと思っています。小学生が笑顔で楽しそうに取り組んでくれたことがとても嬉しかったです。(短期大学部 英語科)

大野城市ランドセルクラブ (2023年度)



学生たちが小学生向けの放課後体験活動の企画立案、打ち合わせ、材料の購入、当日の講師までを担っています。「光の万華鏡作り」「スノードーム作り」のなど4つの企画を計10校で実施しました。笑顔があふれる、充実した活動となりました。

《参加学生の声》

準備や打ち合わせなど大変なこともありましたが、子どもたちや小学校のスタッフの方々が喜んでる姿を見た時、喜びに変わりました。また、小学校の教員を目指す立場として、子どもたちと関わることで接し方など、多くのことを学ぶことができました。(子ども発達学科)

おごおり多文化共生推進大会 (2021年度)



小郡市在住の外国にルーツを持つ人が1,000人近くになったことを受け、より一層の国際理解・国際交流を進めた多文化共生社会を目指すきっかけとして開かれたイベントに運営ボランティアとして学生8名が参加しました。受付・会場案内・司会進行・映像投影など様々な形でイベントを支えました。

《参加学生の声》

わかりやすい日本語を使ったりジェスチャーを用いたり、相手を思いやったコミュニケーションを学びました。(現代文化学科)
このような異文化交流会やイベントが行われていることを、もっとたくさんの人にも知ってもらいたいです。(メディア・コミュニケーション学科)

福岡市西区 子供の健全育成関連事業 (2023年度)



各公民館で開催の子ども向け体験講座にボランティアとして学生が参加しました。香岐南公民館では「クリスマスドーム」づくりに7名が、姪北公民館では「ゲームを作って遊ぶ」に3名が参加。子どもたちと一緒に遊んで学べる、充実した活動となりました。

《参加学生の声》

地域と関わる機会があることがとてもうれしかったです。学生同士で交流を深めあうこともできました。(子ども発達学科)
子どもたちとの交流がとても楽しく、ぜひまたボランティアに参加したいです。(国際キャリア学科)

朝倉市 ポータルサイト英訳 (2022年度)



朝倉市の「観光・食・農」魅力発信プロジェクト事業として作成された「原鶴湯めぐりマップ」および「秋月さるきマップ」のポータルサイトの英訳に7名の学生が取り組みました。マップでも見るすることができます。

《参加学生の声》

語彙力の幅が広がったと思います。また、福岡の魅力を実感することが出来ました。(心理学科)
観光分野における適した日本語を選ぶのは難しかったが、生きた英語を学ぶことができました。(国際英語学科)

古賀市／春日市 行政情報の多言語翻訳 (2022年度/2023年度)



2023年度は春日市の「市県民税申告書」を外国人登録者にわかりやすく伝えるための工夫として、学生が英語・ネパール語・ベトナム語への翻訳を行いました。実際に窓口で使用され、市民サービスの向上につながる素晴らしい取組となりました。

《参加学生の声》

普段触れることのない内容で難しかったですが、やってみると楽しかったです。(国際キャリア学科留學生)
自分の翻訳したものが現物となって送られてきた時に嬉しかったです。(国際英語学科)

その他の活動

教育現場

- ・小郡市学び場支援事業
- ・小郡市学校支援事業
- ・福岡県肢体不自由児協会 療育キャンプスタッフ
- ・春日市日の出小学校 特別支援学級児童支援
- ・春日西中学校「土曜星雲塾」学習支援
- ・那珂川市ヤングアドバイザー
- ・大野城市ヤングアドバイザー
- ・那珂川市安徳小学校 教育支援

イベント関連

- ・那珂川市「かわせみ杯」英語スピーチコンテスト運営スタッフ
- ・南市民センターのリニューアル1周年記念「文化の夏まつり」
- ・鳥栖市「子どものための音楽祭」サポートスタッフ

(1) 生涯学習事業の設置趣旨および活動内容について

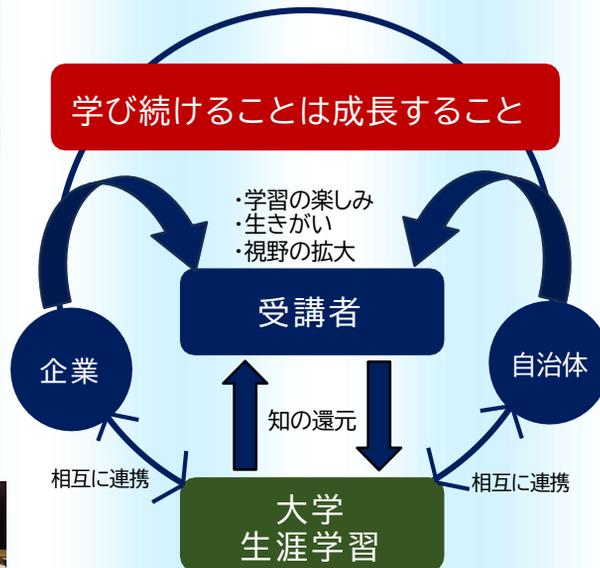
1990年代のバブル期、リーマンショック、バブル崩壊後の就職氷河期時代、21世紀を迎え、コンピュータやインターネット・ネットワーク技術などの情報分野の目覚ましい発展により、いまやAI(人工知能)が活躍する時代となりました。

遡ること1989年4月に福岡女学院100周年記念館2階に生涯学習センターが設置され、1990年5月に開講。1991年には小郡キャンパス*に市民講座を開講、2002年10月に天神サテライト校*を開校と、リカレント教育の時代を先取りしながら、地域のみなさまに大学の「知の還元」を目指し活動しております。

時代にあった生涯学習の講座を提供し、2023年度は企業や自治体と連携しながら、寄附講座として「金融リテラシー講座」や「ゼロから始めるDX基礎講座」を実施しました。

地域・国際交流センターの一部門として、『生涯学習』を先達の理念に基づき、地域に寄り添った講座の開講、学生のキャリア支援のためのプログラムの充実、履修証明プログラムの開発など、リカレント教育を実践しています。

※2002年に小郡キャンパスを日佐へ統合、2021年に天神サテライト閉校



○ リカレント教育としての講座・教育内容の充実 ○

地域のみなさまと生涯を通して学びを分かち合い、リカレント教育を推進する

○ 学生のための資格取得講座によるキャリア支援 ○

専門の機関と連携し、学生の資格取得をサポートし、キャリア支援を実施する

○ 特別講座・公開講演会などイベント開催 ○ 様々

な分野の学習への知的好奇心を刺激します！

[前期]

No.	形式	講座名	講師	カテゴリ	受講者数	回数
1	対面	パイプオルガン A,B,C,D,E,F	古賀 智子	教養	17	各クラス 5回
2	対面	はじめてのパイプオルガン	古賀 智子	教養	5	5
3	対面	もう1度！やり直し英会話	小野寺 Gary	英語	12	14
4	対面	コミュニケーション向上力	西田 敬子	教養	8	5
5	対面	教科書から学ぶ日本史入門	木村 隆久	教養	11	14
6	対面 &Zoom	聖書講座「よくわかる旧約聖書の歴史」	坂元 恵子	教養	10	6
7	対面	中国古典（漢文）を読む	高戸 聡	文学	10	6
8	対面	英語の音読で能力パワーアップ Aクラス	板倉 武子	英語	12	6
9	対面	英語の音読で能力パワーアップ Bクラス	板倉 武子	英語	9	6
10	Zoom	楽しく学ぶ！フランス文化	Jean-Marc PORTALE S	語学	8	2
11	Zoom	短歌	桜川 冴子	文学	8	5
12	対面 &Zoom	万葉集講座	清原 倫子	文学	11	6
13	対面 &Zoom	『日本書紀』を読む	清原 倫子	文学	8	6
14	対面	古事記を読む	吉田 修作	文学	不開講	5
15	対面	イラストレーター基礎講座 基本ツールの操作入門	金藤完三郎	教養	不開講	3
16	対面	ネット社会のセキュリティも学べる ステップアップ Zoom 講座	田代勢 他	教養	不開講	4

2023 年前期講座も 2022 年度に引き続き、対面、対面&Zoom（ハイブリット）、Zoom 講座の 3 つの形式で開講しました。すべて対面で実施されていたコロナ禍前に戻るのではなく、遠隔地からも受講できるメリットを活かして講座を実施しています。残念ながら最少開講人数に達せず開講できなかった講座もありましたが、徐々に受講生が戻ってきていただいていることを感じました。

初めてパイプオルガンに触れる講座も新規の受講生を迎え、再開されました。「短歌」の講座は Zoom を利用してオンライン開催、「万葉集」や「日本書紀」、「聖書講座」は、対面（大学で受講）と Zoom を利用したハイブリットで開催しました。

教科書から学ぶ日本史入門：講座の様子



生涯学習はココ



生涯学習 外観

〔後期〕

No.	形式	講座名	講師	カテゴリー	受講者数	回数
1	対面	パイプオルガン A,B,C,D,E,F	古賀 智子	教養	15	各クラス 6回
2	対面	はじめてのパイプオルガン	古賀 智子	教養	5	5
3	対面	もう1度！ やり直し英会話	小野寺 Gary	英語	11	15
4	対面	コミュニケーション向上力 Ver.2	西田 敬子	教養	8	5
5	対面 &Zoom	聖書講座「新約聖書の世界と歴史」	坂元 恵子	教養	9	7
6	対面	英語の音読で能力パワーアップ ス	Aクラス 板倉 武子	英語	11	7
7	対面	英語の音読で能力パワーアップ ス	Bクラス 板倉 武子	英語	9	7
8	Zoom	楽しく学ぶ！ フランス文化	Jean-Marc PORTALE S	英語	8	2
9	Zoom	短歌	桜川 冴子	文学	8	5
10	対面 &Zoom	万葉集講座	清原 倫子	文学	10	7
11	対面 &Zoom	『日本書紀』を読む	清原 倫子	文学	7	7
12	対面	さわって学ぶ！ ChatGPT	田代勢 他	教養	10	3
13	対面	教科書から学ぶ日本史入門	木村 隆久	教養	9	14
14	対面	中国古典（漢文）を読む	高戸 聡	文学	11	8
15	対面	ガーデニングサロン(朝)	石井 康子	教養	11	1
16	対面	ガーデニングサロン(昼)	石井 康子	教養	12	1
17	対面 &Zoom	スクールカウンセラーからみた 子どもの心・保護者の気持ち	齋藤 富由紀	教養	9	6
18	対面	ブロードウェイミュージカル； その誕生と魅力の展開	能勢 卓	文学	不開講	4
19	対面	大宰府での道真 -『菅家後集』を読む-	渡邊 寛悟	文憑	不開講	4
20	対面	機嫌よく生きる心を養う ～7つの方法～	伊藤 文一	教養	不開講	3

後期の講座は、コロナ禍で休止していた「ガーデニングサロン」を復活して開催しました。皆さん熱心に石井康子先生のお話に耳を傾け、作品を完成しました。また、「さわって学ぶ！ ChatGPT」講座では、新しい IT 技術に興味のある受講生が積極的に参加されていました。「聖書講座」は、後期から旧約聖書より新約聖書に内容がうつり、新約聖書の世界と歴史を読み解きます。歴史を感じる聖書の奥深さを感じる講座です。



講座の様子



[2023年度 特別講座]

No.	日程	形式	講座名	講師	カテゴリー	受講数	回数
1	4/12	対面	2024年大河ドラマの主人公先取りして学ぶ! 紫式部の生涯 春の章	東 茂美	文学	121	1
2	6/14	対面	2024年大河ドラマの主人公先取りして学ぶ! 紫式部の生涯 夏の章	東 茂美	文学	131	1

No.	日程	形式	講座名	講師	カテゴリー	受講数	回数
1	9/13	対面	2024年大河ドラマの主人公先取りして学ぶ! 紫式部の生涯 秋の章	東 茂美	文学	121	1
2	11/22	対面	2024年大河ドラマの主人公先取りして学ぶ! 紫式部の生涯 冬の章	東 茂美	文学	131	1

2023年度の特別講座は、福岡女学院大学 名誉教授の東茂美先生に『2024年大河ドラマの主人公を先取りして学ぶ! 紫式部の生涯』を4回(春・夏・秋・冬)開講しました。

春の章では、紫式部の少女の時代にフォーカスし、時代背景とともに少女が見つめた日々を解説されました。夏の章では、成人する日と題し、幼き頃に母を亡くした紫式部の青春時代を垣間見ることができました。

秋の章では、宜孝との結婚、愛娘の誕生、そしてわずか3年の結婚生活を中心に式部の妻の顔、母の顔について、歌を通して読み解きました。冬の章では、いよいよ源氏物語の執筆をサポートした集団(プロダクション紫)と強い「推(お)し活(か)つ」があったことに注目し、幼き頃の悲しみが投影されている長大な源氏物語につながっていきま

受講生の方々は、各回ともに熱心に聴講され、東先生の軽妙な語り口に惹き込まれ、平安時代にタイムスリップしていきました。大学に保管されている源氏物語絵巻や受講生所蔵の博多人形など紫式部由来の品々とともに「紫式部の生涯」を楽しみました。



講座の様子



博多おはじき：源氏香*受講生所蔵品



博多人形：源氏雛*受講生所蔵品



石山寺縁起絵巻 巻四より 紫式部が『源氏物語』を執筆したといわれる石山寺を帯に模したもの



前期

No.	形式	講座名	講師	カテゴリー	受講者数	回数
1	対面	履修証明プログラム ～日本語ボランティア A～	守山恵子 藤山智子	履修証明	15	15

後期

No.	形式	講座名	講師	カテゴリー	受講者数	回数
1	対面	履修証明プログラム ～日本語ボランティア B～	池田尚登	履修証明	13	15

2023 年度、履修証明プログラム「～日本語ボランティア～」は、ボランティアで日本語を教える際の基礎を学ぶ「A」と日本語指導のサポートを必要とする外国から来た子どもへの対応、教える際に知っておくべきことを中心に学ぶ「B」の科目に分けて、前期と後期にそれぞれ開設することになりました。

前期で「日本語ボランティア A」を後期で「日本語ボランティア B」を学習し、計 60 時間を履修したことを証明し、履修証明書を 10 名に講座最終日に授与しました。

後期の「日本語ボランティア B」から受講した学習者は、2024 年度前期の「日本語ボランティア A」を修了すると履修証明書が授与される予定です。

2022 年度までは、まだコロナ禍の影響を感じていましたが、2023 年度は科目を分散したことによって受講料も受けやすい価格となり、受講者が増加しました。

今後とも継続的に「日本語ボランティア講座」を開講し、日本語を教える場でサポートができる人材を輩出していきたいと思っております。

講座の様子



anniversary

30th



資料 カレンちゃん
福岡学院大学 生涯学習

履修証明プログラム 日本語ボランティア 履修証明書授与式 2024.1.19

[2023年度 年間受講者数]

No.	講座名	講師	受講者数
1	TOEIC Listening & Reading テスト対策 目指せ ハイスコア (目標 730~900 点) [ZOOM 講座]	早稲田大学EXT講師 濱崎潤之輔	15
2	IT パスポート試験対策講座 [オンデマンド講座]	ヒューマンアカデミー講師	0
3	秘書技能検定 2 級対策講座	非常勤講師 日巻 明美	13
4	超初心者のための初めての TOEIC 講座	教職支援センター 朝原直子	5
5	Microsoft Office Specialist (MOS) [ZOOM 講座] 講座 (Word・Excel・PowerPoint 365&2019)	リンクアカデミー 講師	7
6	マナー・プロトコル検定 3 級対策講座	Cherry 接遇マナー 講師加藤 亜紀	28
7	マナー・プロトコル検定 2 級	Cherry 接遇マナー 講師加藤 亜紀	19
8	日商簿記 3 級対策講座	LEC 東京リーガルパシフィック福岡本校	3*
9	医療事務受験対策講座	ニチイ学館	6
10	調剤薬局事務講座 認定取得講座【新規】	ニチイ学館	9
11	公務員地方上・中級公務員対策講座	資格の学校 TAC/W セミナー	17
12	公務員地方上級・中級対策講座【WEB 専門コース】	資格の学校 TAC/W セミナー	5
13	就職支援 & 公務員基礎力養成講座	資格の学校 TAC/W セミナー	9
14	日商 PC 検定 3 級 (文書作成) 講座	人間関係学部助手 濱崎智子	4*
15	日商 PC 検定 3 級 (データ活用) 講座	人間関係学部助手 濱崎智子	2*
16	日商 PC 検定 2 級 (文書作成) 講座	人間関係学部助手 濱崎智子	2*
17	SPI 集中講座	IOI キャリアガイダンスセンター	2*/16
19	エントリーシート作成講座	IOI キャリアガイダンスセンター	1*/5*
20	ラジオ/放送業界及びアナウンサー受験対策講座	九州アナウンスセミナー	0
21	ファイナンシャルプランナー技能士 3 級講座	LEC 東京リーガルパシフィック福岡本校	4*

※数字の後ろの数字は、開講最低人数に達せず不開講となった講

[学部別過去受講者数] * 2020年度はコロナ禍のため除く

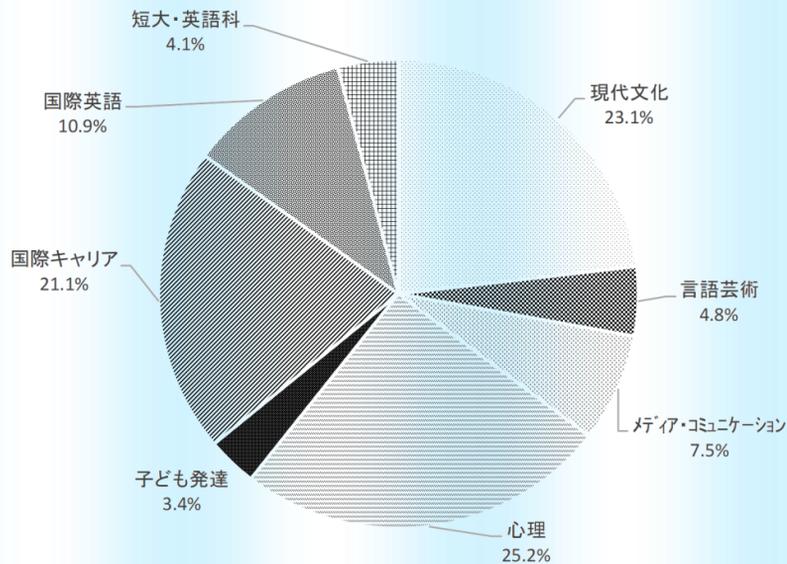
	人文	人間関係	国際キャリア	短大	総計
2023年度	14	4	13	2	33
2022年度	47	32	36	6	121
2021年度	53	30	60	11	154
2019年度	125	70	62	10	267
2018年度	137	47	101	28	313
総計	376	183	272	57	888

資格取得を
サポートします!

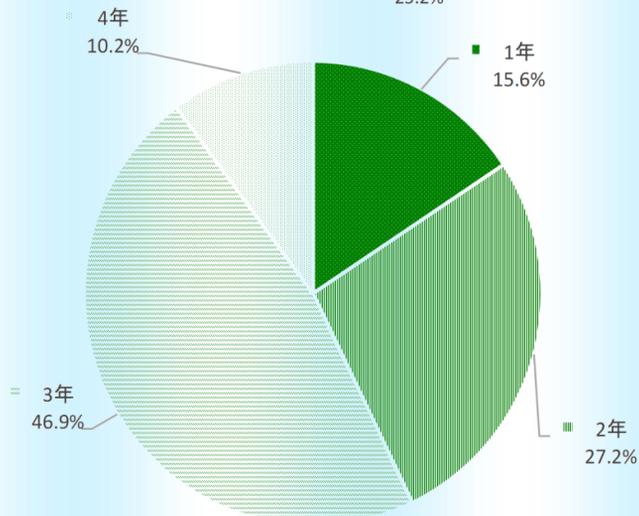
2023 年度 資格取得講座 学科・学年別受講状況

	学部	学科	1年	2年	3年	4年	合計
HC	人文	現代文化	1	10	18	5	34
HA	人文	言語芸術	0	2	2	3	7
HM	人文	メディア・コミュニケーション	2	5	3	1	11
RS	人間関係	心理	5	7	22	3	37
RK	人間関係	子ども発達	1	1	3	-	5
IC	国際キャリア	国際キャリア	6	11	12	2	31
IE	国際キャリア	国際英語	4	2	9	1	16
JE	短大	短大・英語科	4	2	-	-	6
		合計	23	40	69	15	147

● 学科別の受講状況



● 学年別の受講状況



(6) 公開講演会

2023 年度 公開講演会 フォーラム「今をいきる 今をうたう 今をえがく」

2023 年 12 月 9 日(土)に公開講演会フォーラム「今をいきる 今をうたう 今をえがく」をギール記念講堂にて開催しました。パネリストに歌人の依万智先生、画家の田中千智先生、歌人で本学准教授の桜川冴子先生、そしてコーディネーターを本学・能勢卓教授がつとめ、短歌や絵画を通して「今をいきる」ことの情景を様々な角度からお話いただきました。当日は 300 名あまりの方々にお越しいただき、軽妙な語り口で、そして教養豊かな思いをそれぞれに表現していただき、来場の皆様の心に届くフォーラムとなりました。

今回のフォーラムの主題「今をいきる」は、コロナ禍と戦争の続く今を生きることに眼差しを向け、昨年度の「ウクライナのゆくえ」の学術研究の観点からではなく、芸術の観点からこのテーマにアプローチすることに意味があるのではないかと考え企画をいたしました。

21 世紀の時代は、困難なことがこれからも起こるかもしれませんが、わたしたちが生きている、この『今』という時間が、価値のある尊い時代であると感じ、以下のウォルト・ホイットマンの詩をコーディネーターである能勢卓センター長が引用し、紹介しました。

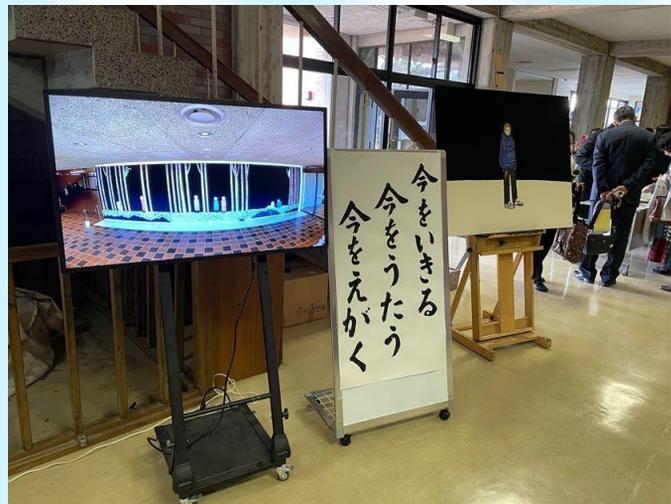


There was never any more inception than there is now,
過去に劣らず現在にも始まりはあり
Nor any more youth or age than there is now,
過去に劣らず現在にも老若はあり、
And will never be any more perfection than there is now,
未来に劣らず現在にも完成はあり、
Nor any more heaven or hell than there is now.
未来に劣らず現在にも天国と地獄がある。

限りある時間を「今」を大切に過ごすことの大切さをそれぞれの言葉にそえて盛会にて終了しました。今後も様々な角度から魅力的な公開講演会を開催していく予定です。



公開講演会当日の様子（入口）



公開講演会当日の様子（講堂ロビー）

● 2023年12月9日（土）公開講演会当日の様子

公開講演会当日の様子（全体）



短歌を語る日本を代表する歌人のパネリスト俵万智氏



絵画を語る画家のパネリスト田中千智氏



短歌から今を語るパネリストの桜川冴子准教授



● 公開講演会に合わせて学内に展示させていただいた絵画の一部（田中千智氏）



125周年1F エントランスひろばに展示中 左：「世界でひとり」右：「虹を追う人」



125周年3F 情報フロアに展示中 左：「不自由な幸福」右：「孤独な自由」



1号館1F カフェに展示中：「女の食卓」

2023年度は、株式会社フォーバル様とSMB Cコンシューマファイナンス株式会社さまより寄附講座として下記の2つの講座を実施しました。

【一般&学生対象】

●ゼロから始めるDX基礎講座 [株式会社フォーバル アイコン事業本部 研修センター長 五十嵐敏行] 日

時：2024年2月22日(木) 13:30~15:00

場所：エリザバス・リーホール

概要：PC やスマホアプリなどツールを活用し、あらゆる業務をデジタル化するDX（デジタルトランスフォーメーション）が注目されています。DX に取り組む背景とともに企業や身近な仕事での活用法や実際に働き方や生活を変化させている事例などを介されました。



当日の様子：講義のあとに活発な質疑応答が交わされました。身近なDXを実感！

「ゼロから始めるDX基礎講座」のチラシ表・裏面

【学生対象】

●金融リテラシー講座 [SMB Cコンシューマファイナンス株式会社 田村寿美礼他]

日時：2024年2月26日(水)・27(木)・28(金) 10:00~12:10※休憩10分含む

場所：125周年記念館 3F 情報フロア PCルーム4

概要：「計画的な資産形成や金融トラブルの回避等、生活のなかで実用的に活かせる金融知識（金融リテラシー）」の習得を目的とした講座です。近年、若年層への金融教育が拡充していますが、これまでの知識・理解を測定する機会は少ないのが現状です。金融を学び検定試験の合格を目指します。

資格が取れる！

金融リテラシー講座

金融リテラシー検定 今回に限り全て無料！

今後の資金計画を立てたい！
自身のお金に関する知識を確認したい！

人には聞けなかったお金の話をわかりやすく説明します。講座の最終日には、まとめとして「金融リテラシー検定」を受験し、資格取得を目指します！

日程	内容	時間
2/26(月)~2/28(水) 全5回	ライブプラン	
2/26 第1回	ライブプラン	
2/27 第2回	賢い消費者	
2/27 第3回	金融と経済	①10:00~11:00 ②11:10~12:10
2/28 第4回	支え合う社会	
2/28 第5回	検定試験	※金融リテラシー検定受験

【会場】 125周年 3F 情報フロア PC4

【参加料】 無料 全5回(金融リテラシー検定受験料含む)

【申込方法】 生卒年割HP資格取得より必要事項を入力してお申込みください

【講師】 SMB Cコンシューマファイナンス株式会社 福岡お客様サービスプラザ 田村 寿美礼 先生 他



当日の講座の様子

28名の学生が真剣に集中して学びました。検定試験も全員合格しました。



金融リテラシー講座のチラシ

大学公開講演会フォーラム



生きているということⅣ 田中千智 2021年

今を
いきる
うたう
えがく

生きていくということ
作品は今を語り、
逆に作品から見える現代がある

ゲストに日本を代表する歌人の俵万智さん、
福岡市美術館の壁画を制作中の話題の画家、田中千智さんを迎えて本学の教員と共に、
絵画や短歌を映像で紹介しながら、作者の生の言葉で作品の背景や思いを語り合います。

2023年12月9日[土]

10時30分～12時 ※午後は第10回福岡女学院短歌大会

福岡女学院 ギール記念講堂

入場料：一般 1,000円[学生・生徒・児童は無料]

お問い合わせ・お申込み：福岡女学院大学 地域・国際交流センター(生涯学習)

Email: shogai@fukujo.ac.jp 電話: 092-575-2993

このフォーラムは、事前申込みが必要です。申込みはこちらから →



後援：福岡市、福岡市教育委員会、春日市、春日市教育委員会、大野城市、
大野城市教育委員会、那珂川市、那珂川市教育委員会、NHK福岡放送局

福岡女学院大学
FUKUOKA JO GAKUIN UNIVERSITY福岡女学院大学短期大学部
FUKUOKA JO GAKUIN UNIVERSITY JUNIOR COLLEGE

地域・国際交流センター(生涯学習)

コーディネーター

パネリスト

能勢卓
福岡女学院大学 教授桜川 冴子
歌人、福岡女学院大学 准教授田中千智
画家俵万智
歌人

福岡女学院大学・福岡女学院大学短期大学部
地域・国際交流センター(生涯学習)
大学公開講演会

今を
えがく
今を
うたう
今を
いきる



歌人
倭万智

1962年生まれ。歌人。早稲田大学卒。1986年、作品『八月の朝』で第32回角川短歌賞を受賞。1987年、第1歌集『サラダ記念日』を出版、ベストセラーとなる。翌年、『サラダ記念日』で第32回現代歌人協会賞を受賞。2004年、評論『愛する源氏物語』で第14回紫式部文学賞を受賞。2006年、第4歌集『ブーさんの鼻』で第11回若山牧水賞を受賞。2019年、評伝『牧水の恋』で第29回宮日出版文化賞を受賞。2021年、第6歌集『未来のサイズ』で第36回詩歌文学館賞、第55回遼空賞を受賞。主な歌集に『かぜのてのひら』『チョコレート革命』『オレがマリオ』など。現代短歌の魅力を伝え、すそ野を広げた創作活動により2021年度朝日賞を受賞。



画家
田中千智

1980年兵庫県生まれ、多摩美術大学卒業。2006年より福岡を拠点に画家として活動を開始。近年は国内のほか、韓国・シンガポール・台湾・香港・イギリス・フランスなど海外での展覧会にも出品多数。また書籍の装丁画をはじめ、幅広い活動を行っている。代表的な展覧会として、2014年「第5回福岡アジア美術トリエンナーレ」福岡アジア美術館(福岡)、2016年「I am a painter」横浜市民ギャラリー(横浜)、2021年「九州洋画II:大地の力-Black Spirytus」久留米市美術館(福岡)、2022「1000のキャンパス」Bunkamura Gallery(東京)、2023年「地平線と道」福岡市美術館(福岡)。現在、福岡市美術館2階の大壁面に大作「生きている壁画」が2025年12月まで展示されている。



歌人・福岡女学院大学准教授
桜川冴子

1961年生まれ。歌人・本学准教授。福岡市文学賞、福岡市文化賞、青木秀賞、博報賞などを受賞。歌集は『六月の扉』『月人社子』『ハートの図像』『キットカットの声援』『さくらカフェ本日常』『桜川冴子歌集』(文庫)『流一桜川冴子歌集』。歌書は『短歌でめぐる九州・沖縄』(編著)、『馬場あき子と読む「無名抄」』(共著)。筑紫歌壇賞(全国の60歳以上の第1歌集が対象)、福岡市文学賞、福岡市文化賞、桧原桜賞(短歌賞)、福岡県歌人会歌集賞、鹿児島県の高校生短歌大賞などの選考委員を務めている。太宰府天満宮短歌大会、福岡県医師会歌壇その他選者、福岡文化連盟理事、「天神文化塾」(第4木曜夜)のコーディネーター。



福岡女学院大学教授
能勢卓

福岡女学院大学 人文学部 現代文化学科 教授(同大学地域・国際交流センター センター長)。専門はアメリカ文学、アメリカ演劇、演劇の台詞の文体研究など。近著『アメリカの声をひろうー言葉で闘う語り手たち』(2022:ナカニシヤ書店)では、17世紀から現代に至る様々な人物のエッセイの翻訳を掲載した。またアメリカ近代演劇の父と評されるEugene O'Neillの演劇作品をコーパス文体論的に研究する一方で、近年では映画作品の台詞の文体にもスコープを広げ、「Female Dominance in the Movie *The Devil Wears Prada: A Corpus Stylistic Approach Toward Two Central Characters' Speeches*」(2022)では映画『ブラダを着た悪魔』の女性登場人物の台詞の文体に考察を加えている。

同日開催

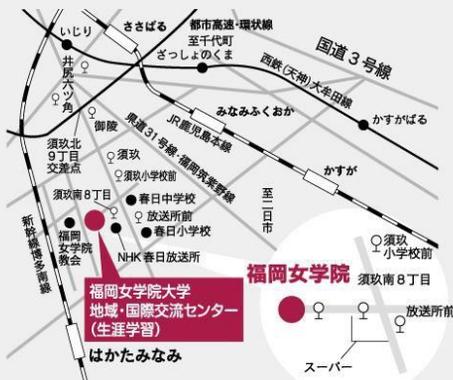
第10回 福岡女学院 短歌大会

2023年12月9日[土] 短歌大会 13:30~(開場13:00~)

福岡女学院ギール記念講堂 ※入場無料

講評座談会や表彰式を開催、どなたでも入場無料(予約不要)です。

※入賞作品集も配布予定、講評座談会のみ参加可



福岡女学院大学

FUKUOKA JO GAKUIN UNIVERSITY

福岡女学院大学短期大学部

FUKUOKA JO GAKUIN UNIVERSITY JUNIOR COLLEGE

地域・国際交流センター(生涯学習) 9:00~17:00(月~金)

〒811-1313 福岡市南区日佐3丁目42-1

Email: shogai@fukujo.ac.jp 電話:092-575-2993

アクセス JR鹿児島本線 南福岡駅から西鉄バス45番乗車(約15分)
西鉄天神大牟田線 井尻駅から西鉄バス45番乗車(約12分)
西鉄天神大牟田線 大橋駅から西鉄バス42番乗車(約13分)

福岡女学院大学 市民講座 検索

https://www0.fukujo.ac.jp/lifelong_learning/



(1) 国際交流事業の設置趣旨及び活動内容について

本学の異文化コミュニケーションの拠点「地域・国際交流センター」。留学を希望する学生、本学に入学した外国 留学生へのサポートなどを行うために、さまざまな情報の発信、企画や運営を行なっています。

また、地域住民との交流会や福岡の伝統行事への参加など、本学ならではのつながりも大切にしています。



留学説明会



留学相談



国際交流アワー

国際交流部門

○ 海外留学を希望する学生へのサポート ○

留学に関わるさまざまな情報の提要はもちろん、留学希望者へのカウンセリングや本学留学制度に関する事務手続き、渡航前後のオリエンテーションなどを行います。

○ 外国人留学生へのサポート ○

本学に在籍する外国人留学生へ、在留資格の更新手続きをはじめ、授業や生活全般に関するサポートを行っています。

○ 国際交流の場を設定 ○

学内では外国人留学生と日本人学生の交流の場を設けています。学外では、地域のお祭りに出演したり、博多の伝統的な行事への参加など、地域との連携・文化交流を実施しています。



博多どんたく



やながまつり



FUKUJO_KOKUSAI

(2) 協定校一覧

世界9か国の国・地域と協定を結び、留学生の派遣や受け入れを行っています。単位の修得ができる留学プログラムに加え、協定校が独自で実施する留学プログラムへの参加も可能です。また、交換留学で受け入れている留学生と学内で交流することもできます。

	所在地	協定校名称	
大学	アメリカ	ヴァージニア州	ランドルフ大学
		テネシー州	テネシー大学マーティン校
		ワシントン州	セントラル・ワシントン大学
		ハワイ州	ハワイ大学 カピオラニ コミュニティ カレッジ
	カナダ	ノバスコシア州	セント・メアリーズ大学
		ブリティッシュコロンビア州	バンクーバーアイランド大学
	オーストラリア	ニューサウスウェールズ州	サザンクロス大学
		ニューサウスウェールズ州	ニューカッスル大学
		西オーストラリア州	西オーストラリア大学 CELT
	イギリス	ウェスト・ヨークシャー州	リーズ大学語学センター
	中国	大連市	大連外国語大学
		上海市	華東師範大学
		上海市	上海大学文学院
	韓国	釜山広域市	仁済大学校
		大邱広域市	大邱大学校
		慶山市	大邱カトリック大学
		釜山広域市	慶南情報大学
		釜山広域市	東義大学
	台湾	高雄市	樹人医護管理専科学校
		台南市	長榮大学
ベトナム	バリア・ブンタウ州	バリア・ブンタウ大学	
タイ	パンタブリー県	パンヤピワット経営大学	
フィリピン	バギオ市	バギオ大学	
短期 大学	アメリカ	ウィスコンシン州	ウィスコンシン大学 リバーフォールズ校
		テネシー州	テネシー大学マーティン校
		ハワイ州	ハワイ大学 カピオラニ コミュニティ カレッジ
	ニュージーランド	クライストチャーチ市	カンタベリー大学
	オーストラリア	クィーンズランド州	シャフストンインターナショナルカレッジ ブリスベン校

(3) 留学プログラム（派遣実績）

福岡女学院大学には、さまざまな海外留学・研修プログラムがあります。学部共通の留学プログラムや、学んだ知識を実際に現地に行って実践し、理解を深めることのできる学科独自のプログラムなど、魅力のある留学プログラムを準備しています。

人文学部・人間関係学部プログラム

●交換・認定留学

国・地域	名称	2023年度			
		前期	後期	通年	合計
アメリカ	ランドルフ大学	0	0	0	0
	セントラル・ワシントン大学	0	0	0	0
カナダ	セント・メアリーズ大学	0	0	1	1
	バンクーバーアイランド大学	0	0	0	0
オーストラリア	サザンクロス大学	0	0	0	0
	ニューカッスル大学	1	0	0	1
イギリス	リーズ大学	0	0	0	0
中国	大連外国語大学	0	0	0	0
	華東師範大学	0	0	0	0
韓国	大邱大学	0	0	1	1
	仁済大学校	0	1	0	1
	延世大学	0	0	0	0
	東義大学	0	0	1	1
台湾	長榮大学	0	0	2	2
小計		2	1	5	7

国際キャリア学部プログラム

- Study Abroad(SA)
- Short Over seas(SO)

国・地域	名称	2023年度				
		前期	後期	通年	SO	合計
アメリカ	セントラル・ワシントン大学	0	0	0	-	0
カナダ	セント・メアリーズ大学	3	5	9	-	17
ニュージーランド	オークランド大学	1	0	1	-	2
オーストラリア	サザンクロス大学	2	0	2	-	4
	西オーストラリア大学	2	1	0	2	5
イギリス	レディング大学	0	0	0	-	0
中国	華東師範大学	0	0	0	-	0
韓国	延世大学	0	0	0	-	0
台湾	長榮大学	0	1	0	-	1
小計		8	7	12	2	29

海外研修プログラム

●異文化へのアプローチ

国・地域	名称	2023年度		
		前期集中	後期集中	合計
台湾	長榮大学	0	-	0
オーストラリア	ニューカッスル大学	-	13	13
小計		0	13	13



文化や価値観の違いを学ぶことで
異なる視点で日本を好きになりました。

言語芸術学科 3年 古江 彩乃さん
(福岡県立福岡中央高等学校出身)

ドラマやK-POPから韓国語に興味を持ち、「学生のうちにしかできない経験を」と、留学を決意しました。韓国語は毎日の授業だけでなく、友達と食事をしたり、交流会に参加したりしてスキルアップを図りました。韓国の大学生は勉強熱心。テスト期間に関係なく自主的に図書館を利用しています。在学中にワーキングホリデーや留学をする人も多く、さまざまな経験を積む人が多い印象でした。留学を通して、日本を客観的に見ることができ、自分自身の視野も広がりました。

留学先はコチラ!

韓国 交換留学
仁済大学校



留学期間 2023年8月～2023年12月
住まい 外国人専用の寮である、仁済グローバルタウン(2名1室)で日本人ルームメイトと共同生活をします。食事は朝夕2食付き、トイレ・シャワーは共同。

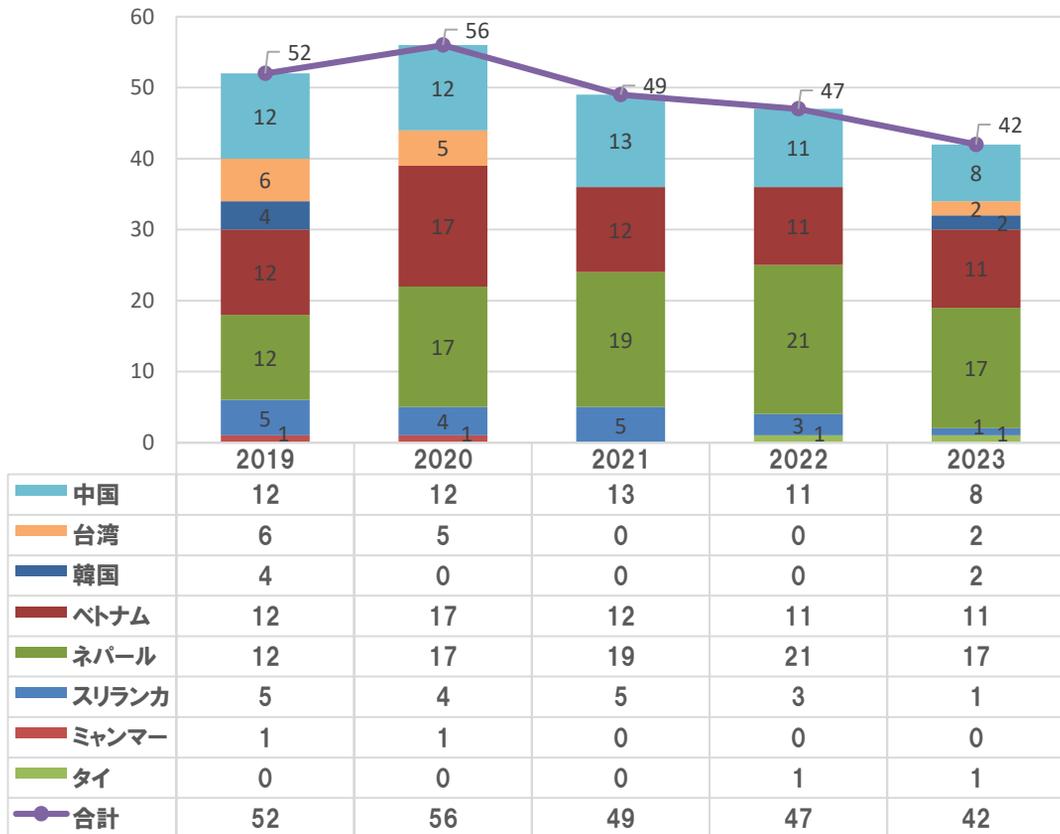
留学制度の詳細は、本学HPをご確認ください。
<https://www.fukujo.ac.jp/university/studyabroad/>



(4) 留学生受入れ状況（交換留学生・院生・研究生含む）

アジアの玄関口である福岡市にキャンパスを構える本学には、アジア圏からの留学生も在籍しています。正規留学生の多くが母国の高校を卒業後来日し、日本語学校で1～2年学んだ後、本学へ入学しています。別々の国から来た留学生同士の会話は日本語。流暢な博多弁が聞こえてくるとこもしばしばです。

福岡女学院大学 外国人留学生国籍別在籍者数推移



International Student Voice

国際キャリア学科 3年 カトウワル ラミラさん
(ネパール出身)

私は日本語学校卒業後、2022年にグローバルな学びを求めて国際キャリア学科に入学しました。この時期はコロナが少し落ち着いてきた頃でした。日本に来てからの3年間で、日本人とほとんど接点がなく、日本人学生の中で勉強することに少し不安がありました。実際に大学生になって、その心配は無用だと感じました。なぜなら、友達や先生方が非常に優しく、わからないことがあれば親切に教えてくれたからです。入学して最初の日、スマホでの出席確認方法が分からず困っていた時、隣にいた日本人学生が声をかけて教えてくれました。大学の文化祭では「ミス福女」に参加し、素敵な思い出や経験を得ました。地域の人々との交流も多く、毎年博多の祭り「どんたく」に参加するなど様々な活動を行っています。本学にはネパール、ベトナム、タイ、スリランカ、台湾、韓国、中国など様々な国からの学生がいるため、異文化交流の機会が多く、様々な国の文化を知る良い機会となっています。



(5) 国際交流と地域連携（実績）

本学は地域とつながりを大切にしています。それは、国際交流においても同様です。様々な国から来た留学生との交流を通して、異文化への理解や異文化と触れるきっかけづくりを行っています。2023年度に実施した交流の様子をご紹介します。

■福岡市南区弥永校区

留学生との交流会 2023/1/28(土)

弥永校区の住民と校区内に立地する本学の留学生が交流会を通してお互いのことを知り、今後の交流にもつなげていきたいという思いで、この交流会が企画されました。

当日は、弥永公民館でネパール出身の留学生がカレー作り参加された地域住民の皆さんへふるまったり、母国文化紹介を行いました。また、弥永校区の紹介や公民館の利用案内など、大学の近隣地区への理解を深めるきっかけとなりました。



第16回 やながまつり 2023/9/23(土)

弥永校区のお祭り「やながまつり」に本学のネパール出身の留学生4名が出演しました。

披露したのは、『自然への感謝』をテーマにしたネパールの伝統的なダンスです。留学生たちが手に持っているのは、ネパールのダンスでよく使う楽器や「ヤ」という動物のしっぽなどです。この日のために、夏休みからダンスの練習をしたり、衣装や装飾品なども留学生たちが準備しました。

会場では、リズムの良いネパール音楽に合わせて一緒に踊ってくれた子どもたちや手拍子をしてくださる方も多く、大変盛り上がりました。少しの時間でしたが、ネパール文化の紹介と地域の方々との国際交流の場が持てて、留学生たちも喜んでいました。



■新天町どんたく隊

博多どんたく港まつり 2023/5/3(土)・4(日)



博多の伝統行事「博多どんたく港まつり」に本学の留学生3名が参加しました。新天町どんたく隊の「三十三羽鶴」の一員として参加させていただき、しゃもじや鈴を使ったどんたくならではの踊り・演舞を披露しました。

留学生にとっては、日本・福岡の文化や地域の方々との交流ができて、貴重な経験となりました。

(6) 国際交流イベント

本学には、外国人留学生と日本人学生が交流する機会がたくさんあります。週1回の国際交流アワー、交換留学生の歓送迎会、毎年大人気のバスツアーなど、楽しく国際交流を行っています。ここでの出会いが、大学生活をさらに有意義にしてくれることでしょう！

国際交流アワー

おりがみ



かるた



歓送迎会



ハロウィン・クリスマスパーティ



葡萄祭 (2023/10/14)



大学祭では、有志の学生がタイのおやつ「カノムクロック」を販売しました。コナツミルク風味の甘い生地にコーンやネギのトッピングがされ、たこ焼き機で回りをカリッと焼き上げました。

福女異文化クイズ王決定戦



バスツアー in 糸島 (2023/11/25)



Information

01

地域貢献部門

TEL : 092-575-6154

E-mail : rcc@fukujo.ac.jp

大学HP

- 地域・国際交流センター【地域貢献】NEWS
https://www.fukujo.ac.jp/university/lifelong/regional_contribution/news
- 地域貢献活動
https://www.fukujo.ac.jp/university/lifelong/activity_content/
- 地域と連携し課題解決のための共同研究
<https://www.fukujo.ac.jp/university/lifelong/research/>
- 地域貢献活動等に関するご意見等の募集
https://www.fukujo.ac.jp/university/lifelong/soliciting_opinions

02

生涯学習部門

TEL : 092-575-2993

E-mail : shogai@fukujo.ac.jp

大学HP

- 特設サイト「地域・国際交流センター【生涯学習】」
https://www0.fukujo.ac.jp/lifelong_learning/

Instagram (インスタグラム)

Coming Soon…!

03

国際交流部門

TEL : 092-575-2562

E-mail : cip@fukujo.ac.jp

大学HP

https://www.fukujo.ac.jp/university/studyabroad/international_exchange

Instagram (インスタグラム)

<https://www.instagram.com/fjgcip>



FJGCIP



福岡女学院大学

FUKUOKA JO GAKUIN UNIVERSITY

福岡女学院大学短期大学部

FUKUOKA JO GAKUIN UNIVERSITY JUNIOR COLLEGE

地域・国際交流センター

地域貢献・生涯学習・国際交流